

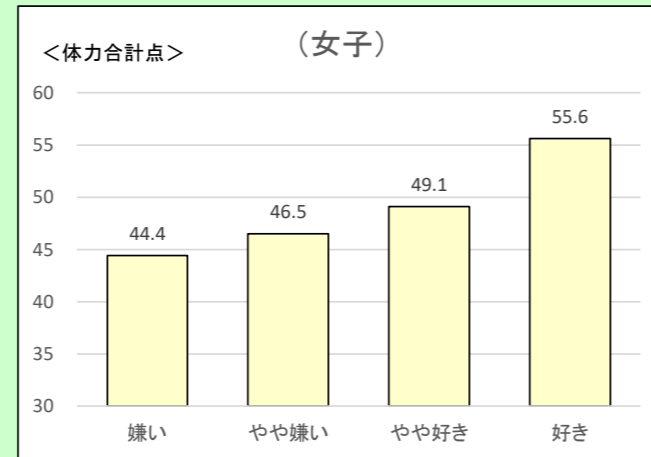
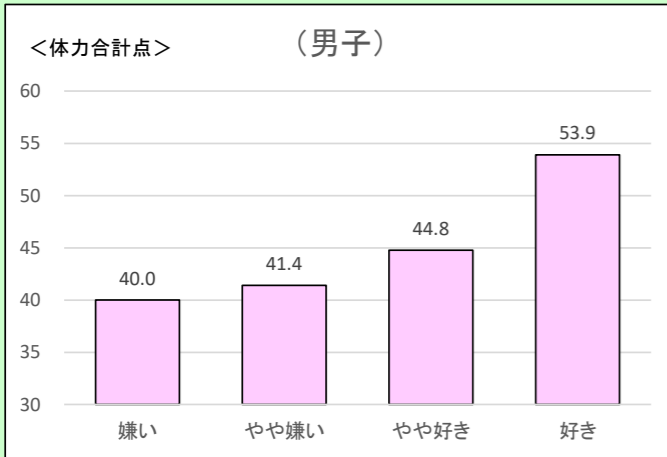
「実技に関する調査」と「児童生徒質問紙調査」のクロス集計

資料3-1

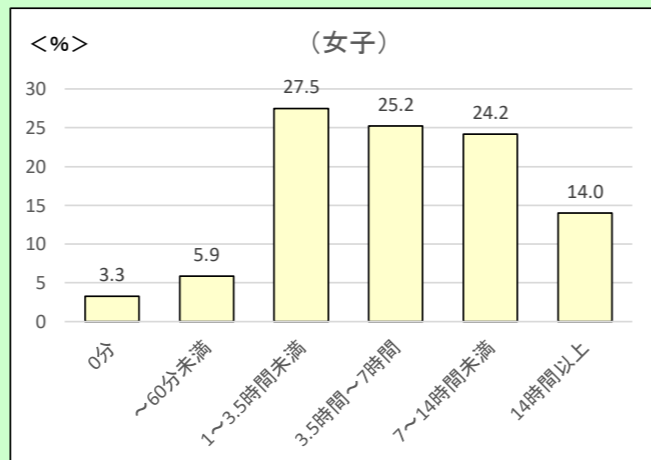
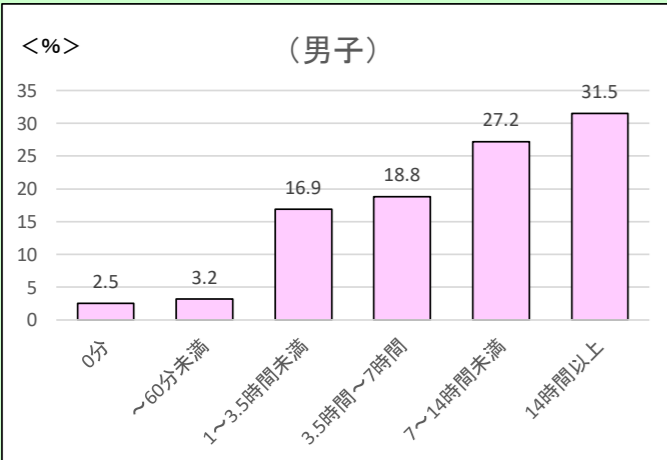
○小学校5年生男子

○小学校5年生女子

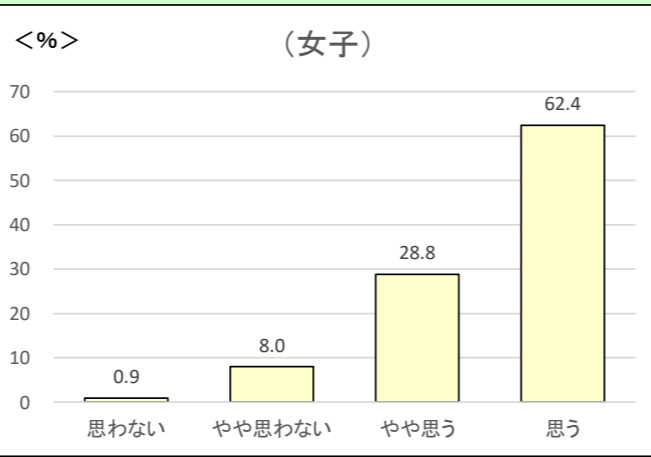
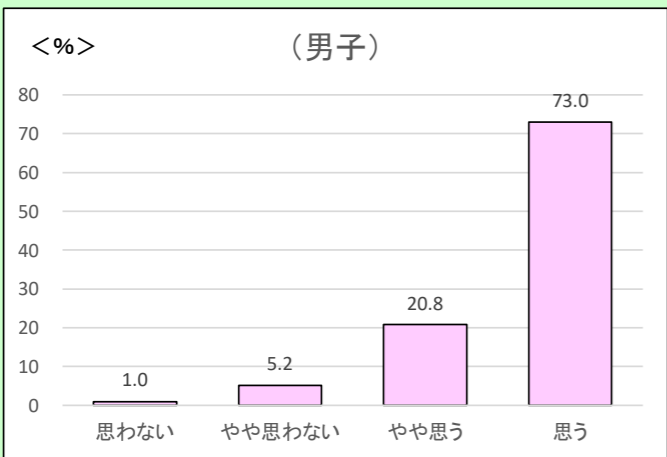
○運動やスポーツが好き・嫌い×体力合計点



○運動やスポーツが好き・やや好き×体育の時間を除く1週間の総運動時間



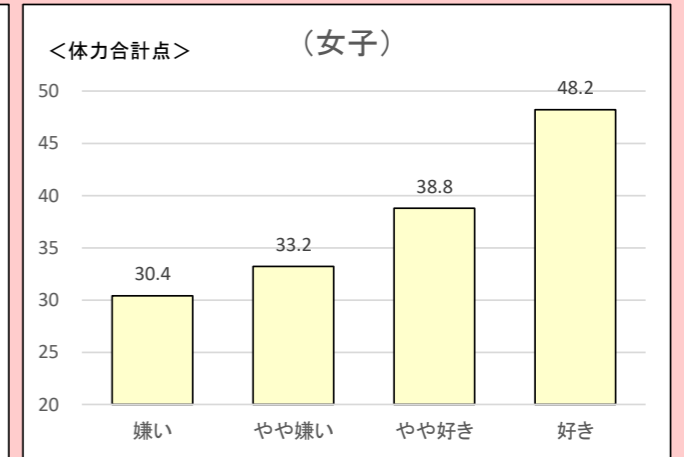
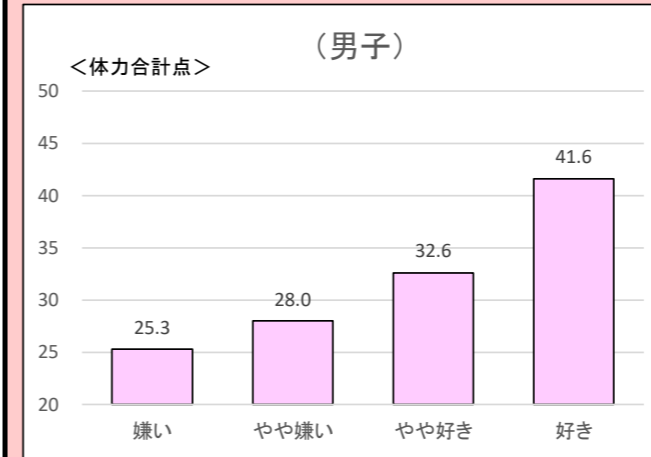
○運動やスポーツが好き・やや好き×中学校で授業以外でも自主的に運動したい



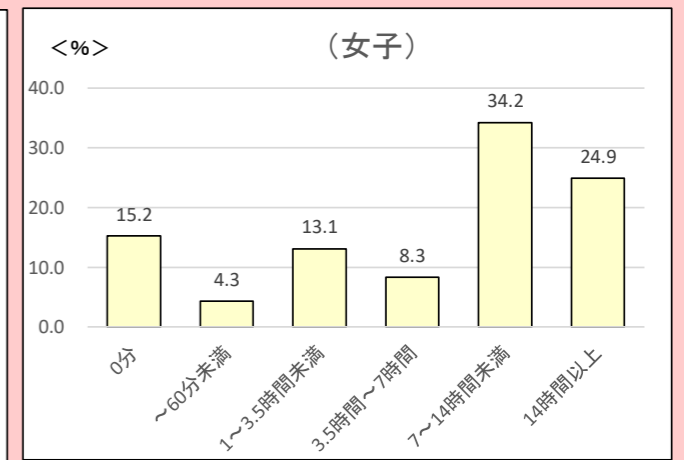
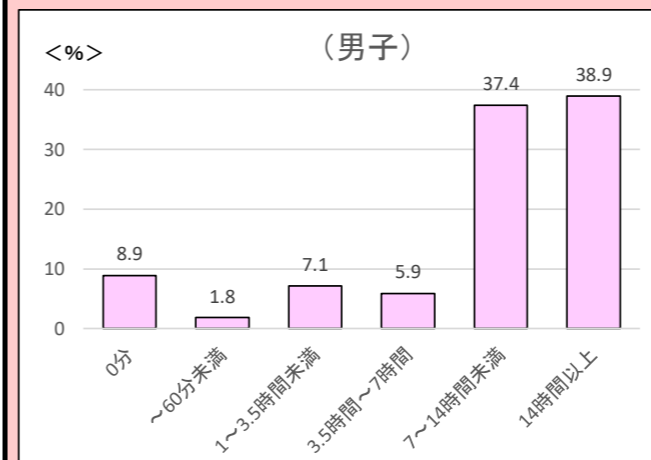
○中学校2年生男子

○中学校2年生女子

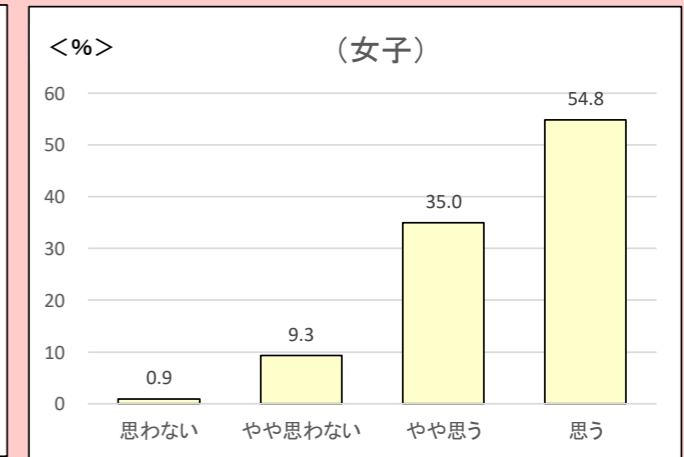
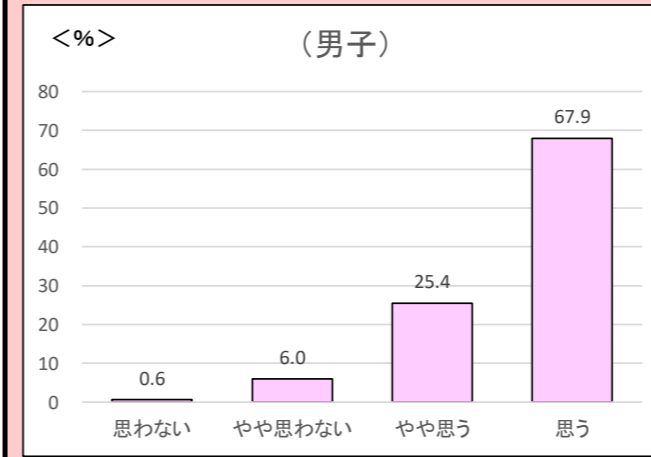
○運動やスポーツが好き・嫌い×体力合計点



○運動が好き・やや好き×体育の時間を除く1週間の総運動時間



○運動が好き・やや好き×中学校卒業後も自主的に運動したい



■資料3-1の分析

- ・体育・保健体育の授業に対する意識においては、「運動やスポーツが好き」と考えている児童生徒ほど、体力合計点が高く1週間の総運動時間も高い傾向にあり、「卒業しても運動したい」には強い相関があったことから、生涯に渡る運動習慣の形成に向けて大切な指標である。
- ・中学校においては、肯定的に考えている生徒の中にも、一定数全く運動しない生徒もいることから、授業を通して実感した運動の楽しさを授業以外の取組へとつなげる工夫が求められる。